

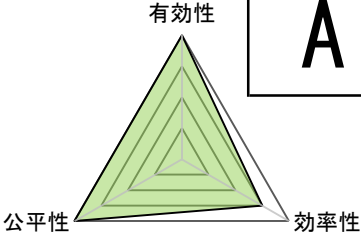

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01議会費

項 01議会費

目 01議会費

事務事業番号 01010101

事業名		議会運営システム事業			担当部署	議会事務局		
根拠法令								
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 	総合評価 A	
	予算・決算額(A)		14,647	14,643	13,579			
	(A)の内訳	国道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	14,647	14,643	13,579			
	人件費(B)		2,881	2,881	2,881			
事業費計(A+B)		17,528	17,524	16,460				
事業の目的		議会の記録やインターネットによる議会生中継及び録画映像配信を行い、市民に対して積極的な議会活動の情報公開を図ります。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>  <p>本会議場、議会大会議室、第1・第2・第3委員会室、市大会議室の議場等音響及び映像設備〔操作に係る機器、マイク機器、録音機器、インターネット中継（生中継・録画中継）に係るカメラ等の映像機器など〕の維持・管理を行います。</p>						
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		市議会中継アクセス件数		件	15,268	22,602	24,430	
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				本会議場等の映像記録やマイクと映像の切替えがスムーズに動くよう議会システムが構築されていることから、議会記録や議会運営が有効的に実施できています。また、インターネット等による生中継や録画配信（5年分の映像が掲載可能）によって、有効的に情報発信を行うことができていることから、「4」としました。		
効率性			●			5年分の映像が掲載可能であることや、生中継の際に議員の質問項目を表示しながら映像を流せるなど、議会映像を見ている市民にわかりやすく映像配信を実施しています。現時点で、話している内容がテロップ表示されないなどのことから、映像配信のバリアフリー化も必要になると考えており、「3」としました。		
公平性		●				議会中継やホームページ上で議会の録画映像が見られるようにすることで、議場に傍聴に来ることができない方にも、本会議の内容が映像として見られるように配慮していることから、「4」としました。		
事業の課題 今後の方向性		今後の方向性として、議員提出資料があった場合、ワイプ表示を行い、議会中継を見ている人にもわかりやすく伝える取組を行っていきます。					事業終了の 予定の有無	
							無	
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01議会費

項 01議会費

目 01議会費

事務事業番号 01010102

事業名		市議会 ICT化事業		担当部署	議会事務局						
根拠法令											
予算・決算 (千円)	区分		R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価				
	予算・決算額(A)		5,639	5,358	9,381				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>		
	(A) の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他	1,612	1,594	1,614						
		一般財源	4,027	3,764	7,767						
	人件費(B)		5,762	5,762	5,762						
	事業費計(A+B)		11,401	11,120	15,143						
事業の目的		議会のICT化により、議会機能の強化につながり、議会基本条例に定める議会活動に関する情報の積極的な公開や発信など、広報広聴の充実を図ることで、より一層市民に開かれた議会を目指します。									
事業の内容 SDGs17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> </div> <div style="width: 20%;"> </div> <div style="width: 20%;"> </div> </div> <p>1 タブレット・ペーパーレス会議システム・グループウェア導入 議員28台と議会事務局12台の計40台のタブレット端末を導入し、ペーパーレス会議システムとグループウェアのアプリを活用し、会議資料のペーパーレス化によるコスト削減と環境への配慮とともに、情報伝達の迅速化や効率化が図られました。</p> <p>2 Wi-Fiの導入 議場・議会大会議室・市大会議室・各委員会室・議員控室へWi-Fiを設置したことで、ペーパーレス会議システムの安定運用が可能となったほか、オンライン会議への参加が可能となりました。</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度				
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							ICT化により、議員間の情報伝達や情報共有がスムーズに行われたため、議会機能の強化が図られていることから「4」としました。		
効率性		●							ペーパーレスにより大量印刷に係る作業時間と印刷コストの低減につながったことで、業務の効率化が図られていることから「4」としました。		
公平性		●				タブレット端末の通信料の一部を議員負担してもらうことで、個々の議員活動の際においてもタブレット端末を利用できるようにしており、適正に運用されていることから「4」としました。					
事業の課題 今後の方向性		ペーパーレスによりゼロカーボンの取組に寄与していると考えます。また、項目評価のとおり、目的に適した内容で事業を実施できており、今後もより市民に開かれた議会を目指すため、有効性の更なる向上について検討していきたいと考えています。					事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											